

第 1 章 まちづくりの将来像・基本理念

1 まちづくりの将来像

昭和 38 年に富谷町としてスタートしてから、平成 28 年に富谷市へと移行するまでの約 50 年もの間、富谷市では一度も人口を減らすことなく、着実に人口が増え続けてきました。

富谷市では、富谷町としてスタートしてから約 100 年後にあたる 2060 年まで、より多くの方々から生活の場として選ばれ続けるまちづくりを推進することで継続的に人口を増やし、成長し続けていくことを目指しています。本市の人口は、今後も引き続き増加していくと見込まれていますが、全国的な人口減少・高齢化の大きな波は、例外なく本町にも押し寄せることは必然であり、同時に、地域活力の低下が危惧されることにもつながると考えられます。



このことから、今後とも地域活力を維持向上していくために、富谷市は、誰からも『住みたい』・『住んでよかった』と思ってもらえるまちを目指し、将来像を次のとおり定めます。

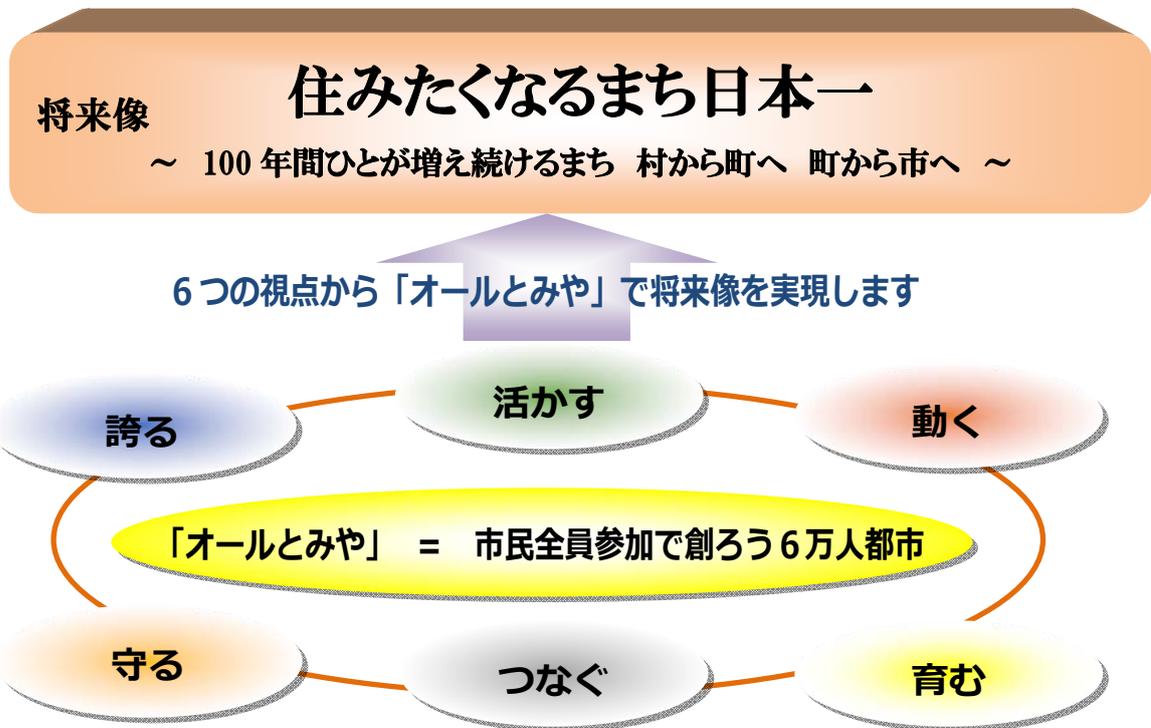
住みたくなるまち日本一

～ 100 年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ ～

富谷市の大きな特徴として、かつて奥州街道の宿場町として栄えた「しんまち地区」をはじめとする、古き良き富谷を守り、語り継いできた古くからの地域と、自然環境と住環境の調和による独自の魅力によって、全国各地から人が集まってきた新しい地域が上手く融合して出来たまちであるということがあげられます。

富谷市は、将来像の実現に向けて、市の特徴である“ひと”と“資源”を「活かし」、「守り」、「育み」ながら、新たなまちづくりへと「動き」出します。そして、市民・議会・事業所・行政の協働・協力・連携（「つながり」）を図り、富谷市が市民の「誇り」となるよう「オールとみや」の体制で「新生富谷市」を創造していきます。

2 富谷市まちづくりの基本理念



理念の説明を挿入

第2章 まちづくりの基本方針

【基本方針－1】

富谷での暮らしを“ブランド”として自慢できるまち！

1 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

① 多様な労働機会に恵まれた市民の希望が**生きる**まちづくり（商工業・雇用）

若者から高齢者まで人材豊富な市において、多様な企業の誘致などによる市民への新たな雇用の機会を創出し、『住みたくなるまち』としての魅力を向上していくとともに、より多くの女性の雇用を促進することで、女性が輝きながら活動できるよう支援していきます。

② 起業へのチャレンジ精神をみんなで**守り**支えるまちづくり（起業支援）

これからも富谷で暮らしたいと願う若者や、富谷に移住を希望されている多様な人々が、安心して起業・創業にチャレンジできるサポート体制を整備することで、あらゆる世代の多様な人材が、それぞれの価値観や時代に即した働き方ができるよう支援していきます。

【最重点プロジェクト】

2 “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

① 市民の新たな**誇り**を培う“とみやシティブランド”の特産づくり（農業）

地域の農家と企業との協働などにより、ブルーベリーに続く市の新たな“誇り”となる特産品の開発に取り組むとともに、6次産業化を含めた農業生産性の向上や販売促進ルートの開拓を支援し、夢と希望ある農業環境を創出していきます。

② 悠久の富谷を未来に**つなぐ**“宿場町の面影”づくり（商業・観光）

地域固有の有形・無形の歴史・文化等を活かしながら、悠久に続く宿場町のイメージを代表するしんまち地区の魅力づくりを推進し、商工会などの団体との連携による市内商業の活性化を図っていきます。

③“とみやシティブランド”の全国発信にみんなで動くまちづくり（観光・地域振興）

スイーツに関連したイベントや交流拠点（道の駅）の整備、宿場町の面影づくり、富谷モデルの市民活動などを効果的に融合して積極的にプロモーションし、富谷の魅力を広く市内外に発信していくことで『とみやシティブランド』を確立し、多様な交流でにぎわうまちを創造していきます。

【最重点プロジェクト】

3 誰もが安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

① 日常の利便性を安全で快適な道路でつなぐまちづくり（道路）

仙台都市圏を身近に感じさせてくれるようになった自動車専用道路北部道路と国道4号とのネットワークを軸として、市街地相互間を結ぶ安全で快適な道路のネットワーク整備を進め、市民の日常生活の利便性と安全性の向上を図ります。

② あらゆる立場・世代の方々でも安全で自由に動けるまちづくり（公共交通）

高齢者や障がい者、子どもや学生などの交通弱者のニーズに対応した町民バスの効果的な運行に努めるとともに、仙台とのつながりなど生活圏域の実態を踏まえた公共交通ランドデザインを策定し、これに則して着実に移動の利便性や安全性の向上を図ります。

【最重点プロジェクト】

4 住み心地良さを肌で感じる豊かで美しいまちを創ります

① 地勢を活かした安全で豊かさの実感できるまちづくり（土地利用）

緑豊かで地盤の強固な富谷の地勢の特性を活かし、地震や風水害、土砂災害などから生命や財産がしっかり守られるとともに、自然環境や農地などとの調和を図りながら、バランスの取れた都市機能の配置を進め、将来にわたって豊かに安心して暮らせるまちを創造していきます。

② 住み心地良さを肌で感じる居住環境を誇るまちづくり（住宅・公園・上下水）

澄み切ったおいしい水の安定供給と衛生的な水環境を守るため、施設の老朽化への対応や今後の水需要の増大などを勘案し、適切な上下水道施設の維持管理と整備に努めます。また、住宅地と自然とが調和し、市民に憩いと安らぎを与え、交流の場ともなる身近な公園の整備、充実を図るとともに、市民の暮らしの安全・安心に配慮した良好な居住環境を整備し、住み心地の良さが実感できるまちを創造します。

③ 緑豊かな麗しき自然環境を守り次世代に継承するまちづくり（自然環境・公園）

私たちの生活に潤いと安らぎをもたらす緑豊かな麗しい自然環境を保全・活用し、次世代に継承していきます。また、市街地の街路樹や公園、緑地等の身近な自然や緑の保全に努め、将来にわたって市民が誇りに思えるゆとりと潤いのある優れた生活環境の創出を市民との協働により推進していきます。

【最重点プロジェクト】

【基本方針－2】

未来を担う子どもたちの教育環境と子育て世代の充実感が際立つまち！

1 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

① 国際化・多様化に子どもたちをつなぐ教育環境づくり（教育・国際交流）

町立幼稚園及び全小中学校のユネスコスクール登録を進め、幼稚園、小・中学校及び高校が連携し、ユネスコの理念に基づく人類の尊厳、国際理解を深める教育等を重点的に実施します。また、国際化社会に対応する生きる力の育成を目指した、小学校英語教育の支援体制の確立、中学生の海外体験研修旅行の実現、留学生等との国際交流の推進を図り、国際感覚を養う教育環境づくりを進めます。

②豊かな心と健やかな身体を**育む**教育環境づくり（教育・青少年健全育成）

心身ともに健やかで、豊かな心と道徳性を備えた、たくましく生きる子どもの育成を目指し、学校・家庭・地域と連携した教育環境の整備・確立を図ります。

【最重点プロジェクト】

2 あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

①生涯にわたって創造性や個性が**活きる**まちづくり（生涯学習）

生涯学習の普及や啓発、学習の場や機会の提供に努めるとともに、市民一人ひとりの自主的・主体的な学習活動の支援と、活動の拠点として公民館の充実や文化施設の整備など、生涯学習の場の充実強化を図るとともに、市民が「いつでも」「どこでも」「誰でも」学ぶことができ、学びを通じて得た成果がまちづくりや人づくりにつながる生涯学習を推進し、創造性や心豊かな人間性を育むまちづくりを進めます。

②躍動感あふれる**動き**に満ちたまちづくり（スポーツ・レクリエーション）

子どもから高齢者まで、それぞれの体力や年齢、目的に応じた主体的なスポーツ活動を基本として、競技力の維持、向上を図るとともに、生涯にわたり、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しむことができる、豊かなスポーツ社会を創造します。

【最重点プロジェクト】

3 伝統と文化を誇れるまちを創ります

①伝統文化を未来に**つなぐ**まちづくり（芸術・文化）

宿場町の歴史的資源を十分に活かしながら、市民の郷土への誇りを育み、歴史遺産を活かした魅力ある地域づくりを行い、あわせて伝承芸能など地域固有の伝統文化を適切に継承するとともに、「とみやマーチングフェスティバル」、「とみや国際スイーツ博覧会」などのイベントを開催し、教育・観光資源として富谷の文化力を高めていきます。

4 全国に誇れる子育て支援で子育てを支えるまちを創ります

① “とみやっ子”をみんなで**育む**環境づくり（子育て支援）

“とみやっ子”を地域住民とともに育む環境を整えるとともに、待機児童ゼロの実現や、（仮称）子育て世代包括支援センターの整備運営、子ども医療費助成など、ハード・ソフト両面から充実した子育て環境づくりを推進し、子育て世代から富谷が選ばれる環境整備を進めます。

【最重点プロジェクト】

【基本方針－3】

あらゆる世代の健康と支えあいの心が創る笑顔が自慢のまち！

1 あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

① “おっぴさん”の輝く笑顔を**誇る**まちづくり（高齢者）

高齢者の方々が住みなれた地域にいつまでも元気に住み続けられるよう、高齢者の自立支援や生活サポート体制を充実するとともに、高齢者サロンや高齢者サークルの充実などにより、高齢者の生きがいややりがいを創出し、元気な高齢者の笑顔であふれるまちを目指します。

② 子どもからお年寄りまであらゆる世代の元気を**つなぐ**まちづくり（健康・保健）

“健康長寿日本一”のまちづくりに向けて市民一人ひとりが健康に関心を持つために、意識の啓発や機会づくりに努めるとともに、健康診断や健康相談の充実、スポーツ活動やサークル活動の充実などを推進し、あらゆる世代の元気が自慢のまちづくりを目指します。

③ いざというときも安心な医療サービスで市民を**守る**まちづくり（医療）

いざというときの医療サービスに対する不安が生じないよう、体制を強化するとともに、休日診療や夜間診療、救急医療に対応した施設の環境整備やネットワークの構築を進め、安心して医療サービスを受けられるまちを目指します。

【最重点プロジェクト】

2 高齢者も障がい者も進んで社会参加したくなるまちを創ります

①障がい者も社会活動に積極的に動きだしたくなるまちづくり（障がい者）

障がい者が地域社会の中で生きがいを持って生活できるよう、生涯学習や社会参加の機会の拡充などによる支援体制を強化していくとともに、就労支援や自立支援の推進、障がい者も気軽に集える場の整備などにより、障がい者も自発的に屋外に出て活動したくなるまちづくりを目指します。

②高齢者や障がい者の安全安心な移動を守るまちづくり（障がい者・高齢者）

公共交通機関の利用促進によって高齢者や障がい者の積極的な外出を促し、健康増進や社会参画を促進するとともに、安全安心な移動を支援するため、公共交通バスなどへの IC カード乗車証を導入するなど、高齢者や障がい者がいつでも自由に安心して移動できる環境をつくります。

【最重点プロジェクト】

3 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

①三世代が常につながり支え合うまちづくり（地域コミュニティ）

三世代の同居、近居による高齢者の安心な暮らしと生きがいの保持・増進、子育て世代の負担軽減による女性の積極的社会進出の促進、高齢者とのふれあいによる子どもの心豊かな情操の育成に資するよう、「三世代が安心して暮らせるまち」の創造を目指していきます。

②地域の方を地域の方が支え守るまちづくり（地域コミュニティ）

幅広い世代の方が情報交換や趣味の時間を過ごすなどで気軽に集える地域交流拠点の整備拡充などを図り、語り合い、集い合う中で地域の方を地域の方が支えていく仕組みづくりを進めます。

③相互扶助の心でつなぐ体制で地域活動を育むまちづくり（地域活動）

三世代で支えあうまちや、地域の方を地域の方が支えるまちづくりを推進する一方で、きめ細かな地域ぐるみの相互扶助を実現していくために、ボランティアの育成をはじめとする地域活動の支援を進め、支え合いの精神が隅々まで行き渡ったまちを創造します。

【最重点プロジェクト】

【基本方針－４】

市民の思いと協働で理想の生活環境が築かれるまち！

1 日常生活が安心して包まれたまちを創ります

① 不測の事態にも動じない安心をつなぐまちづくり（防災・消防・救急・情報化）

激甚災害などで被災した場合でも、自助・共助・公助の連携による自主防災組織の実効ある防災機能を強化するとともに、救急・消防活動や緊急物資の輸送などに大きな支障をきたさないライフラインの確保、緊急情報伝達の迅速化などを進め、速やかに日常生活に立ち戻れる体制をつくります。

② 安心な暮らしをみんなで守るまちづくり（防犯・交通安全・消費生活・情報化）

警察・消防・救急等関係機関と、地域や企業、学校、行政などの連携による防犯組織の充実や、交通安全教育や交通安全啓発活動、消費生活問題に対応する情報提供や相談対応、緊急時の情報手段となる情報通信網整備などで、日常が“ほっ”と安心できる安全な環境づくりを進めます。

③ 多様な立場や考え方をみんなで守るまちづくり（人権尊重・男女共同）

市民が誇る暖かい心と、日本国民としての基本的な人権の尊重の精神のもとで、異なる文化や生活習慣を持つ人達との隔たりのない交流や、男女共同参画などに関する考え方を醸成し、思想や文化、地域も世代も立場も超えた交流が繰り返される、開かれた環境づくりを進めます。

【最重点プロジェクト】

2 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

① 資源循環をシティブランドとして誇る4Rのまちづくり（衛生環境・省資源）

美しく整然とした市街地環境を保つため、ゴミや廃棄物の適正処理に向けた取組を促進していくとともに、リデュース・リユース・リサイクルの3Rの推進による省資源化活動を進め、その地道な活動が富谷ブランドの称号で市民に誇りがリターンして帰ってくる「4R」のまちの創造を目指していきます。

②地球環境への貢献につなぐエネルギー地産地消のまちづくり（省エネ・自然エネ）

深刻化する地球環境の改善に貢献するとともに、快適な住環境の構築、地域経済の活性化、新たな雇用の創出、光熱費の低廉化に資するよう、地域で必要なエネルギーを地域で生み出し、地域で活用する「エネルギーの地産地消」の取組みについて積極的に検討していきます。

3 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

①富谷の市政運営にみんなの知恵と力を活かすまちづくり（住民参加・協働）

対話と情報公開による情報の共有化を進めることで、市民と行政とのつながりをさらに深め、市民が市政に参加しやすい環境づくりを進めると同時に、まちづくりの担い手の育成、組織化、活性化を進め、地域の思いを地域のみんで叶える協働のまちづくりを進めます。

②富谷の未来に不安のない健全経営でつなぐまちづくり（行財政改革）

限られた財源を効率的に運用し、より質の高い公共サービスを市民に提供していくとともに、自主財源の確保に努めながら財政の健全化と持続可能な行政運営を進めるほか、時代や環境の変化に伴う要請に柔軟かつ的確に対応できる職員の育成や組織体制の不断の見直しを進めていきます。

【最重点プロジェクト】